

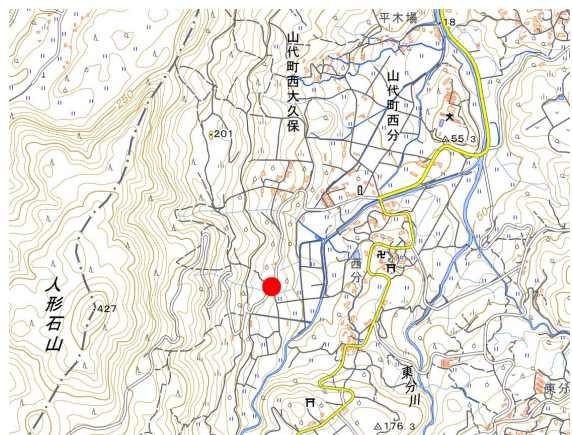
番号	67	人形石山地 ^{すべり} 復旧記念碑 伊万里市長 橋口四郎書		
所在地	伊万里市山代町西大久保			
災害別	昭和３２年（１９５７） 地すべり			
目的別	記念碑	建立年	昭和３６年５月	
特記事項	（参考）石倉山の地すべり復旧記念碑			



伊万里市山代町西大久保地区は、昭和26年2月に地すべりがあった西分地区に隣接した地区で、昭和32年7月6日の地すべりで死者・行方不明者7名の大きな被害を受けた。その災害復旧を記念した碑である。

なお、昭和26年、昭和32年の地すべりは、「地すべり防止法」(昭和33年3月31日法律第三十号)制定のきっかけの一つとなつたと言われている。

「昭和三十二年七月六日午後四時人形石山は大音響とともに地すべりを起こし一瞬にして家屋十二戸を埋没し死者七人の尊い人命を奪った魔の山は更に農地十三町歩を呑む大惨害を惹起したのである。尔来佐賀県知事鍋島直紹池田直の両氏及び伊万里市長橋口四郎氏の絶大なる御努力と関係各位の御協力により昭和三十三



国土地理院電子国土 Web

年十二月県営及び市営による災害復旧事業として着工し同三十六年三月九千八百五十九万円の総事業費を以て竣工したので茲に記念碑を建て永く後世に傳うものである。 昭和三十六年三月工事完了 昭和三十六年五月二十八日 西大久保部落建立」

なお、人形石山から北に連なる石倉山の松浦市今福町側では、昭和27年（1952）28年（1953）、平成2年（1990）と大規模な地すべりが発生している。それに関する記念碑が建てられているので参考までに掲載する。



(参考) 石倉山の地すべり復旧記念碑

長崎県松浦市今福町

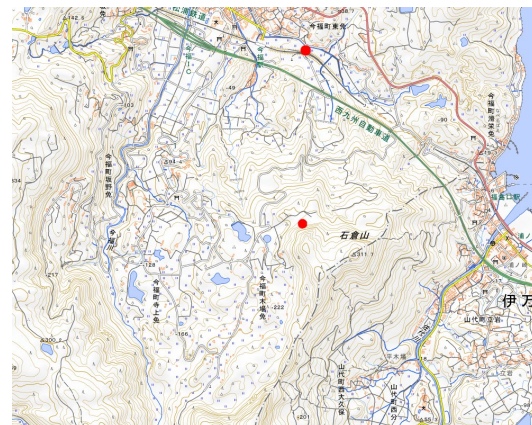


平成2年（1990）7月4日、石倉山で全国的にも稀にみる大規模地すべりが発生。その後4年にわたる復旧工事の完成を記念した碑が山頂付近の排土工の跡地に整備された四季の森石倉の広場に建てられている。平成4年10月建立。この地すべりにより下流の福德地区住民57世帯、126人が約9か月にわたって避難生活を余儀なくされ、復旧工事には総額54億円余の巨費が投じられた。

石倉山は、昭和27年（1952）、28年（1953）にも大規模な地すべりを起こしている。このときの地すべりは当時の国鉄松浦線及び国道を埋没させ、さらに海岸まで達したとのこと。その農地復旧記念碑が松浦鉄道沿いに建てられているので併せて紹介する。



石倉山地に農地復旧記念碑 昭和32年建立



国土地理院電子国土Web